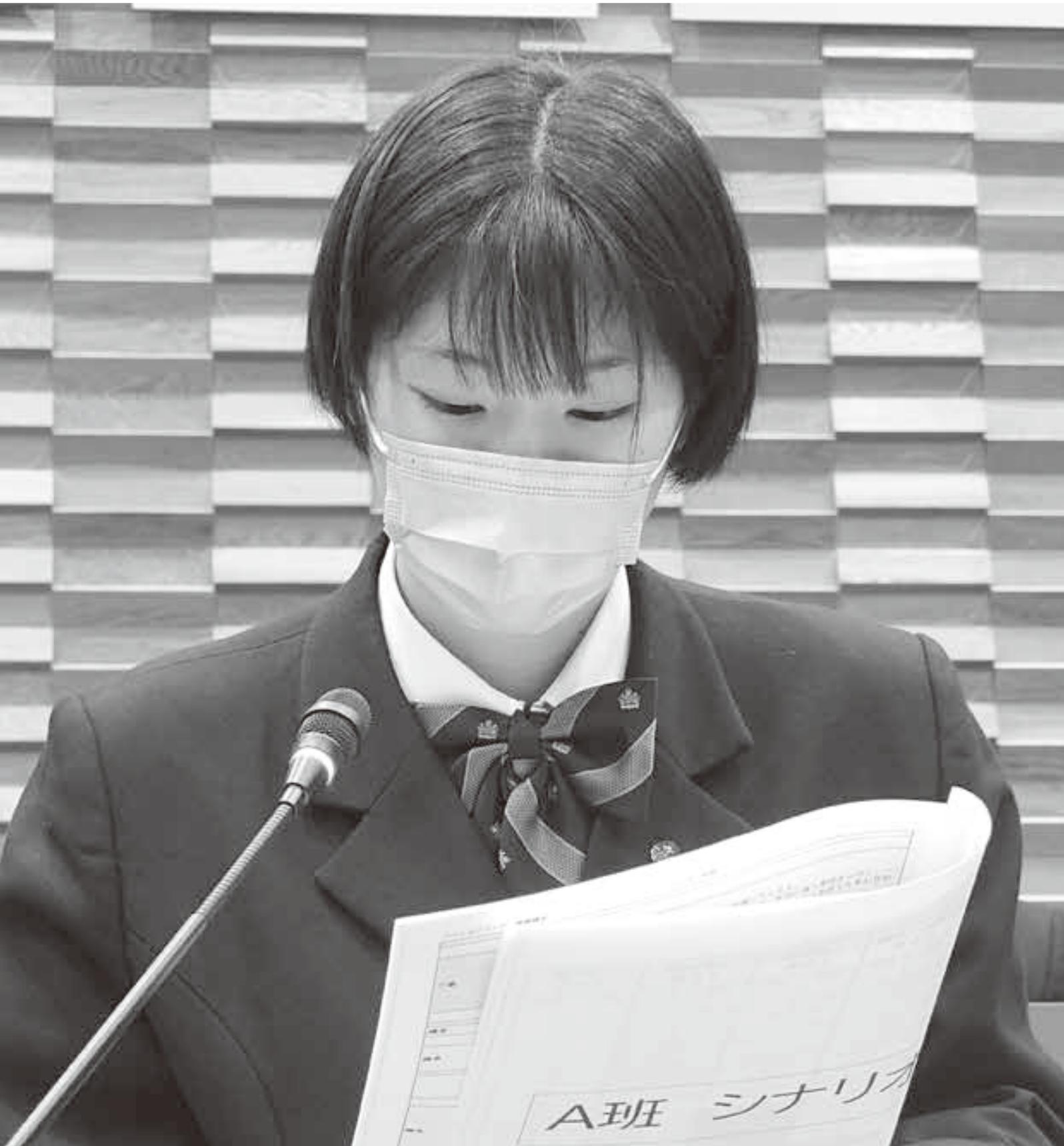




めむろ議会だより

Memuro Town Assembly information



地方議会の体験を通じて仕組みを理解すること、将来の主権者としての意識を高めることなどを目的として、1月30日から2月2日までの4日間で議場体験を行いました。
 また、体験がより有意義なものになるよう、「議会のしくみ」などについて事前に議員が出前授業を行いました。



1年生が議場で議長・議員・町長などの役割を体験

一般質問と答弁、議案提案や表決を実際に行い、ものごとをどのように決めていくか、自身が議員としてどのように決断するかを体験した生徒からは、「暮らしに直結する内容がどのように決められているか知ることができた」、「町長が勝手に決めていけないことがわかった」、「責任をもって賛成・反対しなければならぬ」、「議長の立場で全体を見ながら進めるのは難しい」、「議員としての発言は緊張したけど楽しかった」、「事務局のカメラ操作が大変だった」、「事前学習のおかげでわかりやすく体験できた」、「18歳になったら政治に参加して町に貢献したい」などの声をいただきました。



3月 定例会議

3月定例会議始まる
各会計補正予算は原案のとおり可決

3月定例会議は2日に開会し、町長から令和5年度町政執行方針が、教育長から教育行政執行方針が示されました。また、令和5年度各会計予算及び関連議案を予算決算特別委員会に付託し、条例改正、補正予算など町長提案の議案及び議会提案の「芽室町議会の個人情報保護に関する条例」を原案のとおり可決しました。

一般会計補正予算(初日)

項目	補正額	主な事業
総務費	5,436千円	寄附金管理基金積立
民生費	31,923千円	保育事業
衛生費	73,274千円	新型コロナウイルス対策
農林産業費	181,215千円	道営土地改良事業参画事業
商工費	373千円	芽室消費者協会運営支援
土木費	21,632千円	公営住宅維持管理事業
消防費	1千円	上水道事業会計負担金補助
教育費	41,428千円	小・中学校維持管理事業
諸支出金	2千円	基金管理事務
予備費	15,402千円	
歳出合計	370,686千円	

議会運営委員会

●議会活動の総括と方針を決定
町民の声を政策に反映する目的で、議会モニター制度、町民との意見交換会等の活動を行っています。

令和4年度事業総括では、目的、目標の明確化や事業手法のあり方など課題が見えてきました。

令和5年度の方針では、議会改革諮問会議の答申を反映させ、事業の目的、目標の共通認識を図り、より最適な事業手法を検討し、町民にとって身近な議会をさらに進めていきます。

●議員自己評価を実施しました
芽室町議会基本条例に基づき、毎年、議員自己評価を実施しています。

課題は、年間活動計画に反映させ、議会活動の活性化につなげていますが、次年度以降はさらなる自己評価手法の改善と活用に取り組んでいきます。

総務経済常任委員会

第17回 2月1日(水)
第18回 2月20日(月)

●新嵐山スカイパーク運営支援事業について
新型コロナウイルス感染症の影響による施設の利用控えという不可抗力により、

宿舎部門のうち宴会部門においては収入の大幅な減少が見込まれ、協定書の「特別な事情」に該当することから、指定管理業務委託料の設計変更を行いたいとの説明を受けました。

質疑では、「町民の貴重な財産の運営状況・実態が、町民に伝わっていないと感じる」、「感染症のみを利用控える原因とする説明では、町民に理解されない」などの意見がありました。

これからも委員会では、新嵐山スカイパークが「町民にとっても自慢できる、誇るこのできる新嵐山」を目指して進むように調査・研究していきます。

町政を問う

一般質問

4人が登壇

3月16日(木)午前9時30分

()内の時間は目安です

- ①渡辺洋一郎議員(60分間)
・公営住宅の今後の整備について
- ②常通 直人議員(45分間)
・地域集会所施設再整備計画の展望について
- ③堀切 忠議員(45分間)
・自治体DXとマイナンバーカードの課題と対策について
- ④寺町 平一議員(40分間)
・芽室町農業をさらに発展させる政策について
・合同納骨塚設置について

図書館と議会が連携



一般質問に関連する図書を展示

議会の一般質問に関連する図書資料を、図書館の特設コーナーで展示します。ぜひ、図書館へ足を運んでみませんか???

意見交換会

2月14日、市街地町内会連合会の役員6名と総務経済常任委員会との意見交換会を実施しました。

コロナ禍による活動の制限、高齢化による役員の手不足、未加入世帯の増加など、町内会活動を取り巻く現状や、課題解決のための市街地町内会連合会の考え方を伺いました。そのほかにも、地域集会所や各種団体への負担金のあり方など、さまざまな内容について意見交換ができました。



厚生文教常任委員会

第19回 2月2日(木)
第20回 2月22日(水)

●芽室町総合体育館改修工事について
町営水泳プールの建替えにともなって、総合体育館に新たに設置される、①アスリートミュージアム、②キッズスペースについて調査を行いました。

アスリートミュージアムは、旧集団研修施設かつこの内の大乃国資料室を移設し、また本町出身のアスリートに係る展示や情報を公開する場として、キッズスペースは現トレーニング室に子どもが運動できる遊びの場として整備するとの説明がありました。

委員からは「広さに問題はないか」、「防犯カメラ等の設置をするか」などの質疑がありました。

●公立芽室病院経営強化プランについて
令和5年から新たに策定される経営強化プランについて調査を行いました。

今回策定するプラン(計画)には、これまでの「改革プラン」に加えて、「働き方改革への対応」、「新興感染症への取組」などの項目が追加されると説明がありました。

委員からは、「経営の今後の見通し」、「コロナ病床の今後の展開」などを確認する質疑がありました。その後の議員間討議では、「今後の大規模な改修など委員会としても継続調査していく必要がある」ことを確認しました。



文書質問

文書質問

芽室町議会会議条例第64条に定められる議員活動です。議長にその要旨が通告され、今回は2月17日を答弁書の提出期限として町長に送付しました。



「まちなか再生」に係る商店街のあり方と都市計画の今後の考え方について

渡辺 洋一郎議員

町は第5期芽室町総合計画後期実施計画において、新たに「まちなか再生の推進」を掲げ、今年度中に「まちなか再生ビジョン」を策定することとしています。

「まちなか再生」の実現に向けては、新たな発想による事業展開を主眼に置きつつも、既存商店街の機能は、同様に最も重要な要素のひとつとなってくることから、以下3点について、町長の見解を伺います。

①「まちなか再生」において、商店街の意義、機能、展望について、町長の見解を伺います。

②既存商店街の再生の一つの手法として、店舗改修(リフォーム)及び新規出店・創業に係る費用助成制度の創設により、資源の有効活用、地域内経済循環への寄与、町民の利便性向上、空き店舗対策等様々な効果が期待できると考えますが、町長の見解を伺います。

③「まちなか再生」においては、短期的視点ではなく、10年、20年後を見据えた視点が必要と考えます。例えば、都市計画変更も視野に入れ、老朽化した公共施設等を商店街に機能移転させたり、まちなかエリア範囲外にはなりません。土地利用の新たなゾーニングとして、公営住宅跡地の再生を官民一体で取り組むなど、現時点での新たな発想と手法について、町長の見解を伺います。

町長 答 2月16日

1点目「まちなか再生」における、商店街の意義、機能、展望」についての見解であります。

本町の商工業は、基幹産業である農業を核に振興・発展してきましたが、周辺自治体への道路交通網整備及び郊外型大型店の出店、さらに近年のネット通販の普及など、新たな消費・流通経路による消費流出が進んでいます。

また、町内商店街は、経営層の高齢化や店舗の老朽化などから、駅前地区を中心として、空き店舗、空き地が点在する現状に加え、生活上の移動手段としての芽

室駅利用者の減少もあって、駅前地区の商店街の持つ中心性が低下し、商店街形成にも大きな影響を与えています。

そうした現状の一方で、従来から商店街は、その立地条件から市街地中心部における賑わいづくりへの役割が求められているとともに、地域の産業構造における地域内経済循環の視点では、消費の受け皿として、他地域への所得流出を減らし、地域内消費を促す重要な役割も担っています。

さらに、商店街は、専門性を持つ「異業種」の集積地として、従来から買い物サービス提供の場として発展してきただけでなく、地域文化の伝承や地域活動など、地域コミュニティを支える、公共的なインフラとしての役割も担ってきており、まちづくりにおいて重要な場の一つであると認識しています。

このことから、令和4年度予算から新たな事務事業として「元氣な商店街づくり支援事業」を創設し、商店会及び商工会青年部が行う商店街振興のための取組の支援を始めたところであります。

商店街振興策は、いかに商店街というエリアに町民に足に向けていただけるかが重要な視点と考え

ておりますが、現在までの状況や今後の賑わい創出を考えると、商業振興策のみの視点では、まちなかに大きな人の流れを継続的に呼び込み、定着させることは難しいと考えており、買い物も含まれた、多様な目的をもって、人が集い、行き交う「魅力あるまちなか」を作る「まちなか再生」に、昨年から着手しているところであります。

「まちなか再生」は、まちなかを人が集い、憩い、多様な活動を広げられる、魅力ある場としていくことで、「人の流れ」の好循環を生み出そうとするものであります。その魅力の一つに、個店があり、それらを線で結んだ商店会、面で捉えた商店街それぞれの取組・活動もありますが、同時に、他の魅力に向かって集まっていく人を商売の対象としていく、顧客として繋げていくなど、他の魅力

を商機とする取組が、個店、商店街には必要と考えております。次に、2点目の「店舗改修及び新規出店・創業に係る費用助成制度の創設」についての見解であります。

1点目でも答弁したとおり、本町商店街の現状から、若い世代や町外客の獲得が進まず、買い物客

の町外流出が見られること、集客力の衰えから「稼ぐ場」としての魅力不足や世代交代が進みにくいといった課題があると認識しております。

こうした課題の解決策を含め、現在、策定作業を進めている「まちなか再生ビジョン」で定める「まちなかエリア」における、令和5年度新規事業を検討中であり、買い物も含め多様な目的をもって、人が集い、行き交う「魅力あるまちなか」を作る「まちなか再生」につなげていく考えであります。

次に3点目「公共施設等の機能移転と公営住宅跡地再生の官民一体となった取り組み」についてであります。

本町では、平成31年3月に都市再生特別措置法に基づき「芽室町立地適正化計画」を策定し、医療・福祉・商業等の都市機能を集約することで、各種サービスの効率的な提供を図る区域として、「都市機能誘導区域」を設定し、将来にわたって持続可能な都市構造への再構築を目指しているところであります。

「都市計画変更も視野に入れ、老朽化した公共施設等を商店街に機能移転させては」とのご提案ですが、都市機能誘導区域には、現

状として公共施設等(役場・消防・公民館・図書館・病院等)はまとまって立地しており、町民のみなさんが住み慣れた場所に住み続けられるための機能として整備され、歴史的にも市街地形成や各種サービスの効率的な提供に結び付いたものと捉えており、現在のところ機能移転を想定できる公共施設等はないものと考えております。

ただし、現在進めているまちなか再生の議論の中で、今後、新たな公共施設等の必要性が出てきた場合については、都市計画の変更も視野に入れながら、持続可能な都市構造への再構築を考える必要性はあるものと捉えております。

次に「公営住宅跡地再生の官民一体での取り組みの新たな発想と手法の考え方」については、住宅施策の推進に関する基本的な方針として「芽室町住宅マスタープラン」を定めており、その中で重点的な取り組みとして、町有地を活用した新たな宅地の供給を掲げております。

「芽室町公営住宅等長寿命化計画」において移転集約の方向性から用途廃止の対象となった公営住宅団地は、移転集約先である新規借上公営住宅などへの移転が完了

した住棟毎に解体を進めいく予定であります。

その後の土地利用としては、先ほどの住宅マスタープランでの重点的な取り組みのとおり、新たな宅地供給を予定しております。その手法については、これまでも民間事業者を募り、事業提案を求め、よりよいまちづくりを進めていただける事業者を評価し、官民一体とした宅地分譲を進めてきている状況であります。

今後においても、重点的取り組みとしての「宅地供給を官民一体となった研究・実践を考え方のベース」としつつ、人口動態や宅地、生活ニーズなどの状況に合わせて、多様な跡地利用についても、検討していく考えであります。



役場庁舎から芽室駅方向を望む

議会白書

令和5年2月 延べ14時間14分活動しました！

会議名			日時 会議時間	休憩 時間	実質 時間	議 件	傍聴 人数	ネット中継 アクセス数
常 任 委 員 会	総務 経済	第17回	2月1日 13:30~15:57	0:21	2:06	1. 新嵐山スカイパーク運営支援事業(指定管理業務委託料)について 2. 結婚新生活支援事業について 他	2	65
		第18回	2月20日 9:30~11:50	0:17	2:03	1. 自治体DXの推進について 2. 「芽室町農業DX構想(案)」について 他	0	45
	厚生 文教	第19回	2月2日 11:00~15:59	1:48	3:11	1. 芽室南小学校水泳授業移行に伴う対応について 2. 子どもの学習環境(ICT)について 他	1	77
		第20回	2月22日 13:30~14:55	0:16	1:09	1. 新型コロナウイルスワクチンの接種状況等について 2. 公立芽室病院経営強化プラン(案)について 他	1	7
議 会 運 営 委 員 会	第22回	2月3日 9:30~10:05	0:00	0:35	1. 議会だより2月号の編集について 2. 議会だより3月号の編集企画について 他	0	5	
	第23回	2月10日 9:30~10:08	0:00	0:38	1. 白樺高校(1学年)との包括連携協定事業の総括案について 2. R4議会報告と町民との意見交換会の総括案について 他	0	4	
	第24回	2月21日 9:30~9:53	0:01	0:22	1. 令和4年芽室町議会定例会3月定例会議の運営について 2. 議会だより3月号の編集について 他	0	(9)	
全 員 協 議 会	第12回	2月21日 10:30~11:45	0:05	1:10	1. 議会改革諮問会議からの答申(「多様な議員のなり手」)について 2. オンライン会議の検証案について 他	0	(9)	
小計			14:02	2:48	11:14		計4	平均27.6
白樺学園高校と芽室町議会 包括連携協定事業			2月1日, 2日 9:30~11:00	0:00	1:30	1学年「議会体験」		※
芽室町市街地町内会連合会と 総務経済常任委員会との 意見交換会			2月14日 13:30~15:00	0:00	1:30	懇談テーマ 「町内会活動の活性化について」等		※
小計			3:00	0:00	3:00			
合計			17:02	2:48	14:14		計4	平均27.6

ネット中継アクセス数 () 同一日に複数の会議が中継された場合は各会議の合計アクセス数を表示



表紙写真
白樺学園高校との包括連携協定
事業(一年生の議場体験)

3月定例会議の御案内

16日	9:30~	一般質問
23日	9:30~	最終日

議会傍聴で
芽室の未来が見える！

インターネット中継は
コチラから視聴できます。
(過去の録画もあります)

団体や多数で傍聴を希望される方は、資料準備のため事前に議会事務局までご連絡ください。(0155-62-9731)

後編記集

■3月は卒業や進学、就職、転職など、生活の変化と、人との出会いや別れの季節でもありませんね。新年度に向けて忙しくなると思いますが、体調を整えて新たな気持ちで春を迎えたいですね。



渡辺洋一郎

■コロナ禍は3年が経過し、少しずつではありますが通常の生活が戻り始めてきました。3月からマスクの着用が個人の判断となり、5月には感染症法の分類が変更される予定と言われています。季節は春、明るい兆しが見えてきましたね。



橋本和仁

■いつまでも寒い日が続いていると思っているうちに、日差しの中に暖かさを感じる季節となりました。春の訪れが待ち遠しいですね。年度末でなにかと忙しいかと思いましたが、体調を崩さぬよう過ごしていきたいでしょう。



正村紀美子

LINE@
友だちになってね!!
@memuro-gikai2014

芽室町議会の概要を紹介
スマートフォンサイト
▶ スマートフォンサイトを見る

公式 Twitter アカウント
@memuro_gikai

公式 facebook ページ
http://www.facebook.com/memuro.gikai

随時更新中